

学校名 (児童数)	豊郷町立 豊郷小学校 (254人)
--------------	-------------------

(本研究に係る問い合わせ先)

所在地：犬上郡豊郷町石畑522

電話番号：0749-35-2010

【研究の目的， 研究内容】

(1) 研究主題

算数科の基礎・基本を身につけ、活用できる子どもの姿を求めて
 ～「できた」「わかった」を実感できる算数科の学習を通して～

(2) 研究主題設定の理由

本校では平成21・22年度県教委指定の言語力アップ事業に取り組み、『きく』こと、『はなす』ことを大切に、共通実践を積み重ねてきた。その結果、全校児童が一堂に会する場で、静かに話が聞けるようになり、学習や生活場面においても、「友だちの発言を大切にする」「自分の発言を大切にしてもらえる」「安心して落ち着いて学習に取り組める」という好循環を生み出している。

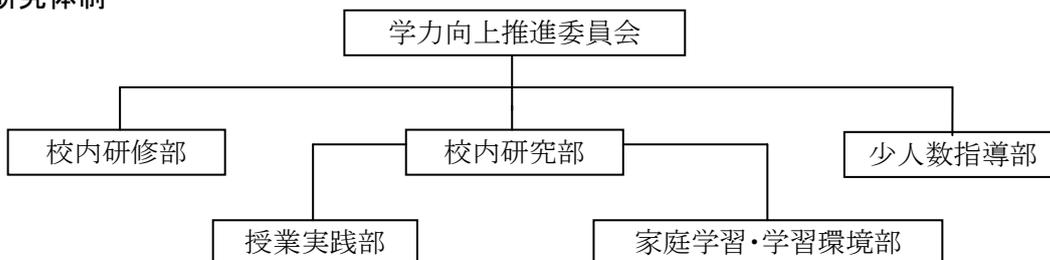
昨年度からは、県教委指定の学力向上アプローチ事業を受けて、算数科を中心とした学力向上に向けた授業改善、思考過程がわかるノート指導、家庭学習の定着を図る指導に取り組んでいる。

しかし、標準学力テスト(平成25年2月実施)や全国学力・学習状況調査の結果、漢字や計算の基礎的な力は徐々についてきているが、国語、算数ともに活用する力が弱い傾向が見られた。また、領域別に見ると国語の「書く力」、算数の「数学的な考え方」での弱さが見られた。子どもたちに確かな学力をつけるために、どの子にも「できた」「わかった」と自信につながるように授業改善を図り、学力の定着、学力の向上につなげていかなければならないと考える。

本校の学校教育目標は、『いのち・人権を大切に、豊かな心と確かな学力を身につけた子どもの育成』であり、『自信・夢・勇気をもたせる教育』を目指している。

わたしたちは、自分の考えを積極的に述べ、友だちの考えのよさを認め、力を合わせながらよりよい考えを追求していく学習過程の中に、学校教育目標の具現化を目指すための要素があると考え。そして、「できた」「わかった」を実感できる体験を重ねることが、自信・夢・勇気をもった子どもたちの育成につながると考え、本主題を設定した。

(3) 研究体制



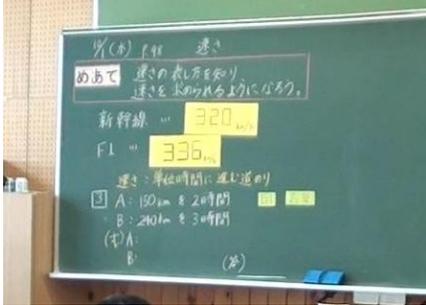
(4) 1年間の主な取組の経過

- ・ 5月9日(金) 全国学力・学習状況調査の自校採点
- ・ 5月19日(月) 校内研究会全体会 今年度の研究概要確認
- ・ 5月29日(木) 第1回校内授業研究会 ひまわり学級「なかよく分けよう」
- ・ 6月25日(水) 第2回校内授業研究会 4年「小数」
- ・ 9月10日(水) 校内研究会全体会 評価問題に基づいた研究授業の検討
- ・ 10月1日(水) 第3回校内授業研究会 6年「速さ」
- ・ 10月29日(水) 第4回校内授業研究会 5年「面積」
- ・ 11月26日(水) 第5回校内授業研究会 3年「重さ」
- ・ 12月12日(金) 学力向上推進委員会 本年度の研究のまとめ方の検討
- ・ 1月28日(水) 第6回校内授業研究会 1年「大きなかず」
- ・ 2月18日(水) 第7回校内授業研究会 2年「10000までのかず」
- ・ 3月4日(水) 校内研究会全体会 本年度の研究のまとめおよび次年度の方向

(5) 具体的な研究内容・方法, 研究を進める上での工夫点等

① 出口を意識した評価問題からの単元構成や算数的活動の工夫

- ・単元のねらいに沿った単元末の評価問題を作成し、指導すべき内容の焦点化を図る。
- ・基礎・基本の徹底のために体験的・実践的な算数的活動を取り入れた単元構成を工夫する。
- ・既習内容と子どもの実態をふまえて、学習のねらいを明確にした授業づくりを進める。



② 「できた」「わかった」を実感する授業の工夫

- ・具体物、半具体物を使った体験的な算数的活動を取り入れた授業を構築する。

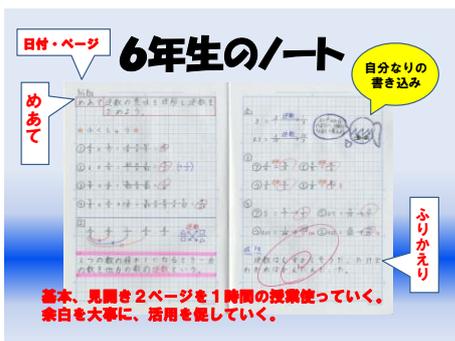


- ・ペアや小グループで学習する場面を取り入れた授業づくりを進める。



③ 予習、復習につながる家庭学習の工夫

- ・家庭学習においても活用できるノートづくりのために基本的な型を指導する。



- ・家庭における学習時間の確保と自主学習の充実にむけた学習計画づくりを進める。

家庭学習の充実にむけて

6年の取組

自主学習の手引き

☆1日、1ページ以上やりましょう!!

☆月曜日に計画を立てて実行しましょう!

☆目指せ! 1学期で100時間!

～こんな学習をすといよいよ基礎編～

国語・・・漢字練習
 (1行または1字でもOK、4マス1字でもGOOD)
 言葉の意味調べ(教科書や、新聞などの文章から)

算数・・・計算問題(計算ドリルや教科書の問題から)

社会・・・重要箇所をまとめるなど(教科書、資料集から)

理科・・・重要箇所をまとめるなど(教科書)

※しっかりと身につけて、自分の力にしよう!!

～こんな学習もいよいよ発展編～

読書をした感想・・・どんな話なのか(要約)、読んだ感想

新聞の切り抜き・・・どんな記事なのか(要約)、読んだ感想

※この他にも、自分で学習を見つけて、「やってみよう!

4年の取組

「ひとつぶの米」

4年1組の取組

「リレー自主勉強」を始めてます!

4年1組がスタートして、1ヶ月が経ちました。2人で毎朝1つのことに取り組んでほしいと考え、「リレー自主勉強ノート」を始めます。みなさんが管理している自主勉強ノートとは別ノートを用意します。得意な分野、得意な人はそのノートに自主勉強をして、翌日の担当へまわすというものです。

リレー自主勉強ノートの管理に当たっては、自分の自主勉強はしっかりと書いておきましょう。(もちろん、自分のノートにも確認してOKです)

リレー自主勉強には、普段自分たちが学習している内容と同じ学習で続けます。漢字練習や計算練習、社会や理科の調べ学習、授業のノートまとめ、字と読み直しなど、自分で考えて学習してほしいと思います。

1冊のノートで学習することで、あなたがどんな学習をしているのかわかることができます。良い機会になると思います。友達のノートの使い方を真似することも大切なことです。みんなで使用するノートに学習するという責任を感じて、学習に取り組んでほしいと思います。

自主学習 一週間の計画表

※毎日の目標は、「1冊のノートに100時間勉強することです!」(毎日このようにがんばれば、必ず目標にたどり着きます!)

学習内容	
月	国語
火	
水	算数
木	理科漢字
金	漢字

今週の自己評価 (○●△) 来週のなかのチェック

家庭学習の記録

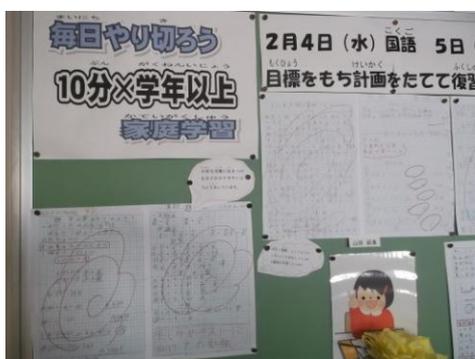
家庭学習は、最低1日1時間はしよう!
2学期だけで100時間めざしてがんばろう!
「いいねいこ」内容を考えて取り組もう!

日	いいねいこ	内容	達成感	時間
月	○	○	○	25分
火	◎	◎	◎	65分
水	○	○	○	30分
木	○	○	○	65分
金	○	○	○	35分
土				
日				30分

今週の家庭学習の時間 **250** 分

累計の家庭学習の時間 **2670** 分

- ・自主学習の質の向上を図るためのノート展示を進める。



- ・家庭の学習環境づくりのために学校だより等を通した啓発を図る。

④校内授業研究会における討議内容の工夫。

- ・意見交流がしやすいグループ討議をもとにした授業研究会を進める。
- ・討議内容を焦点化して実践に生かせるものを見つけ出していく。

【研究成果と課題】

(1) 研究成果

3カ年の研究指定の2年目として、全国学力・学習状況調査を基にして研究内容に関わる項目を抜粋したアンケート調査を4～6年を対象に1月に実施した。

その結果から、基礎学力の定着のために基本的な型を決め、ノート指導を大切にしてきた成果として、学習の記録をしっかりとノートに取ることができる子どもが増えるとともに、自分の考えを書ける子どもが約77%と増えてきている。また、授業で話し合い活動をよく行っていると答えた子どもが約80%と、いろいろな考え方が広がるようにペアや小グループによる意見交流を意識的に行い、子どもにも浸透してきていることが分かる。

また、5年前よりどの教科においても、学習のねらいを明確に示しながら、子どもが見通しをもって学習に臨めるように授業改善に取り組んできた成果として、学習のめあてを意識しながら学習に取り組む子どもが多く(約89%)見られるようになってきた。

さらに、家庭での学習習慣を粘り強く指導することや、家庭との連携を図ることを繰り返すことによって、ほとんどの子ども(約96%)が宿題を、しっかりと家庭学習としてやり遂げてこられるようになった。また、家庭学習の時間を確保し、宿題だけでなく復習や予習をする自主学習を推進していくために、学習計画を立てて家庭学習に臨む姿勢が、約49%の子どもたちに見られるようになってきた。

例年、11月に実施している保護者アンケートにおいて、「家庭学習の習慣が身につけてきたと思いますか。」という項目では、わずかではあるが増加(H25 69.8%→H26 71.3%)

している。以前に比べて、各家庭で子どもが学習に取り組んでいる姿が見られるようになってきた結果である。

項目		している (当てはまる)	どちらかといえば している (当てはまる)	あまりしていない (どちらかといえば 当てはまらない)	全くしていない (当てはまらない)
(3)	自分で計画を立てて、家で勉強していますか。	21.1	27.8	39.1	12.0
(4)	家で、学校の宿題をしていますか。	82.0	13.5	3.8	0.8
(8)	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	35.3	45.1	12.0	7.5
(9)	授業の始めに、目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。	62.1	27.3	8.3	2.3
(11)	感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。	38.6	19.7	18.2	23.5
(12)	授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。	28.8	30.3	23.5	17.4
(17)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。	43.9	32.6	18.2	5.3

(2) 課題等

家庭学習の習慣化に向けた取り組みは、徐々に成果が表れてきているが、保護者アンケートから見ると、約29%の子どもたちが未だに習慣化できていない状況にある。昨年度作成して配布した「家庭学習の手引き」を活用して、家庭における学習環境の整備と学習時間の確保は、多くの家庭で実現できるようになってきたが、親に言われてから宿題をするという状況や習慣としてがんばる姿が見えない状況がある。子どもたちは自主学習にがんばって取り組んではいるが、内容的な高まりがまだまだ見られない。宿題や自主学習において、計算問題や漢字練習など基礎的な内容の繰り返し学習することを大事にしながら、発展的な学習や予習につながる自主学習ができる子どもを目指したい。さらに、保護者が子どもの家庭学習に関心をもって、励ましや見届けができるように啓発を図っていきたい。

また、上記のアンケート結果から、自分の考えや思いを他人に説明すること(12)が苦手な子どもが約59%と多い。また、学習の記録として板書等をノートに書き写す習慣は徐々に身につけてきたものの、書く内容のすべてを自分で考えて感想文や説明文を書き上げていくこと(11)は、約58%の子どもが苦手とする。ふだんの生活においても、自分の思いや考えを適切な言葉で話したり書いたりすることが苦手な子どもが多く、そのことによりトラブルに発展してしまうことが多い。時と場に応じた適切な言葉で、自己表現する力をつけるとともに、様々な場面を通して書くことに慣れ親しむことを大切にしていきたい。

算数科の領域別で見ると、全国学力・学習状況調査の結果、図形(算数A66.7%)と数量関係(算数B50.8%)を苦手とする子どもが多い。特に、与えられた情報をもとに筋道を立てて考え、数量を求めたり理由を記述したりする力(算数B45%)が弱い。図形領域においては、作図や位置関係の読み取りなど、正確さや慎重さを必要とするものが苦手な子どもが多い。一つ一つの手順を確認しながら丁寧な作図指導などを大切にしていきたい。数量関係領域では、計算のきまりの理解が十分でなく、四則が混合した式の計算まちがいが多い。4年生までに学習した計算のきまりをくり返し指導し、学習や生活場面においても活用できる力をつけていきたい。